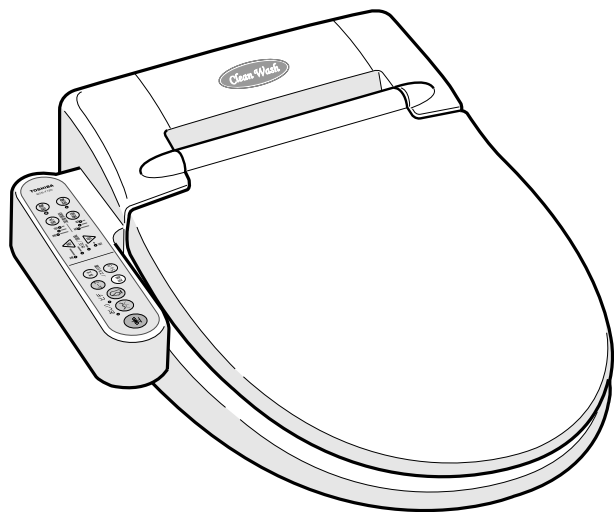


東芝温水洗浄便座（家庭用）
取扱説明書

形 名
SCS-T120



保証書付

保証書はこの取扱説明書の裏表紙についていますので、お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめください。

- このたびは東芝温水洗浄便座をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくため、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり安全上のご注意、機能、使用方法などを十分に理解してください。
- お読みになったあとは、必要なときはすぐに取り出せるように大切に保管してください。

もくじ		ご使用前に
安全上のご注意	2 ~ 4	
お願い	5	
各部のなまえ	6 ~ 7	
付属品	7	
取り付け前の確認	8	取り付けかた
取り付けかた	9 ~ 16	
基本的な使いかた	17	使いかた
機能の使いかた	18 ~ 21	
お手入れのしかた	22 ~ 25	お手入れ・アフターサービス
凍結防止・長期間使わないときの処置のしかた	26 ~ 27	
異常報知について	27	
故障かなと思ったら	28 ~ 29	
仕様	30	
保証とアフターサービス	31 ~ 32	

安全上のご注意

必ずお守りください

商品および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明



警告

「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷^{*1}を負うことが想定されること」を示します。



注意

「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害^{*2}を負うことが想定されるか、または物的損害^{*3}の発生が想定されること」を示します。

*1：重傷とは失明や、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

*2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。

*3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明



禁止

⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。

具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。



指示

●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。

具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。



注意

△は、注意を示します。

具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

免責事項について

- 地震・雷・風水害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故・お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失・事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

警告



気をつける

次のようなかたが使用されるときは、便座温度調節ボタンを「切」にして、周囲のかたが十分気をつける

お子様・お年寄り・皮膚感覚の弱いかた・ご自分で温度調節のできないかた・眠気を誘う薬（睡眠薬やかぜ薬など）を服用されたかた・深酒、疲労の激しいかたなど低温やけどや事故の原因になります。



禁止

電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、高温部に近づけたり、重い物をのせたり、挟み込んだり、加工したりしない

電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。



定格15 A以上

電源は、交流100 Vで、定格15 A以上のコンセントを単独で使う

交流100 V以外で使ったり、コンセントを他の器具と同時に使ったり、延長コードを使うと火災・感電の原因になります。



分解禁止

分解・改造・修理をしない

火災・感電・けがの原因となります。

修理はお買い上げの販売店または東芝家電修理ご相談センターにご連絡ください。



禁止

傷んだ電源コードや電源プラグ、ゆるんだコンセントは使用しない

感電・ショート・発火の原因になります。



差し込む

電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む

感電・ショート・発煙・発火の原因になります。

(警告つづき)



アースを
接続する

アース線を確実に取り付ける
アース線を取り付けないと漏電時に感電の原因になります。
次のようなところへのアース線接続は法令で禁止されています。
ガス管、電話線、避雷針、水栓など
アースの取り付け(D種接地工事)は、電気工事店または販売店にご相談ください。



水を抜く

長期間ご使用にならないときは、電源プラグを抜いたあと、温水タンクの水を抜く
発火や水が腐敗して皮膚の炎症などを起こす原因になります。



プラグを
抜く

お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く
感電・けがの原因になります。



禁止

浴室など湿気の多い場所には設置しない
感電・漏電火災の原因になります。



上水道を
使用する

給水は上水道を使用する
中水道や工業用水の水道に接続すると、ぼうこう炎や皮膚の炎症などを起こすおそれがあります。



禁止

本体や電源プラグ部に汚水や水をかけない
火災・感電の原因になります。



ふき取る

電源プラグの刃および刃の取付面に、ほこりが付いているときは、乾いた布でふき取る
火災の原因になります。



禁止

ぬれた手で電源プラグ部を抜き差ししない
感電の原因になります。



プラグを
抜く

異常な状態で使い続けない
次のようなときは、電源プラグを抜き、止水栓を閉めて給水を止める

- ・配管や本体から漏水する
- ・異音・異臭がする
- ・本体が異常に熱い
- ・本体にひびや割れが入っている
- ・本体から発煙

異常な状態で使い続けると、火災・感電・水もれの原因になります。
修理はお買い上げの販売店または東芝家電修理ご相談センターにご連絡ください。

 注意



禁止

取扱説明書に記載された用途以外で使わない
火災・感電・けがの原因になります。



プラグを
抜く

電源プラグを抜くときは、電源プラグを持って抜く
感電・ショート・発火の原因になります。



禁止

トイレ暖房用ストーブ・ヒーターやたばこなどの火気類を近づけない
火災・変色・故障の原因になります。

安全上のご注意 (つづき)

⚠ 注意



禁止

便座ふたに寄りかからない
便座ふたが割れて転倒したり、けがの原因になります。



禁止

温風吹出し口に指を入れたり、ふさいだりしない
手をけがしたり、やけどの原因になります。



禁止

脱臭カセット挿入口から、指や脱臭カセット以外のものを入れない
指などを入れると、挿入口の奥の脱臭ファンで、けがをする原因になります。



禁止

開口部から指や物を入れない
感電・故障の原因になります。



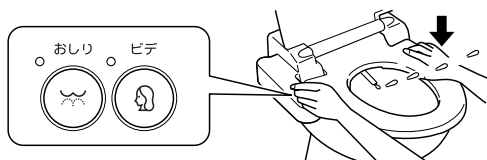
禁止

便座の右後方を強く押し下げたまま、操作パネルのボタンを押さない
着座スイッチが入り、ノズルから温水が出て水をかぶったり、床をぬらすおそれがあります。



閉める

ストレーナをはずすときは、止水栓を閉める また、ストレーナを取り付けるときは、すき間がないようにしっかり付ける
水もれの原因になります。
(ストレーナのお手入れについてはP23を参照)



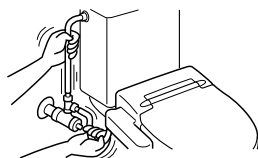
禁止

本体給水ホース・タンク給水ホースを無理に引っ張ったり、力を加えない
破損して、水もれの原因になります。



禁止

直射日光に当てない
樹脂部が変色・劣化する原因になります。



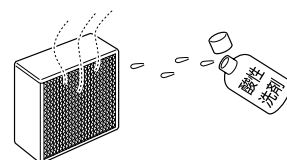
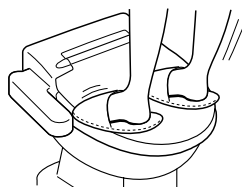
禁止

便座や便座ふたの上に乗ったり、強い衝撃を与えない
変形・破損によりけがの原因になります。



禁止

脱臭フィルターには、アルカリ性・酸性洗剤をかけない
塩素系ガスを発生し、気分が悪くなることがあります。
万一、洗剤がかかったときは、すぐ換気をしてください。



禁止

酸性やアルカリ性のトイレ用洗剤、ベンジン、シンナー、クレンザー、ナイロンたわしなどを使用しない
プラスチック・金具を傷めます。



暖房する

凍結のおそれのある地域では、暖房するなどして、周囲の温度が氷点下にならないようにする
凍結すると給水管などの配管が破損し、水もれの原因になります。凍結のおそれがあるときは、温水タンクおよび本体給水ホースの水を抜いてください。

お願い

給水管の取りはずし、タンク給水ホースの取り付けのときに、ボールタップ接続ねじ部を回すとロータンクに水が入らなくなる場合があります。

ボールタップ接続ねじ部を回さないでください。

(取り付けかたP12を参照)

寒冷地用給水管・フラッシュバルブの配管工事は、専門的な工事が必要になります。

専門業者へご依頼ください。

使用しない給水管は保管しておいてください。

便座・便座ふたの開閉は乱暴に行わないでください。

割れたり、故障することがあります。

便座の中央部よりやや後方に座らないと、着座スイッチが入らないことがあります。

体重の軽いお子様の場合、着座スイッチが入らないことがあります。

洗浄後、ノズル付近から水が出ますが、これは本体内部ホースの残水が出てくるもので、異常ではありません。

約2分後に止まります

長期間使用しないときは、万一の漏水や水の腐敗を防ぐため、止水栓を閉めて温水タンクの水抜きを行ってください。

不要となった脱臭フィルターは、回収を行っている市町村の指示にしたがって廃棄してください。

本体の汚れは水を含ませた布でふきとってください。

汚れかひどいときは、中性洗剤を適量に薄め、布に含ませてふき洗いし、そのあと水ぶきして洗剤をふきとってください。また、消毒などには、逆性石ケンを適量に薄め、布に含ませてふき洗いし、そのあと水ぶきして液をふきとってください。

脱臭を連続で使用した場合、約15分で自動停止します。

続けて使用する場合は、一度立ち上がって座り直してください。

脱臭機能は、便器内の脱臭を目的にしております。トイレ全体を脱臭することはできません。

水道圧が低いところでは、水圧調節を弱くすると、ノズルから洗浄水が出ないことがあります。

このような場合は、水圧の調節を「高」にしてください。

操作パネルのボタンを必要以上に強く押さないでください。

故障の原因になります。

洗浄は1分以上連続使用すると、タイマーが働いて自動的に停止します。

さらにご使用になりたい時は再度ボタンを押してください。

ノズル付近から水が少量出ることがありますが、これは温水タンク内の水が温められて膨張して出てくるもので、異常ではありません。

連続して水が出ているときは、何らかの異常が考えられます。

止水栓を閉め、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店または東芝家電修理ご相談センターにご連絡ください。

男子小便時には、洗浄ノズルや温風吹出し口に小便がかからないようにしてください。

故障の原因になります。

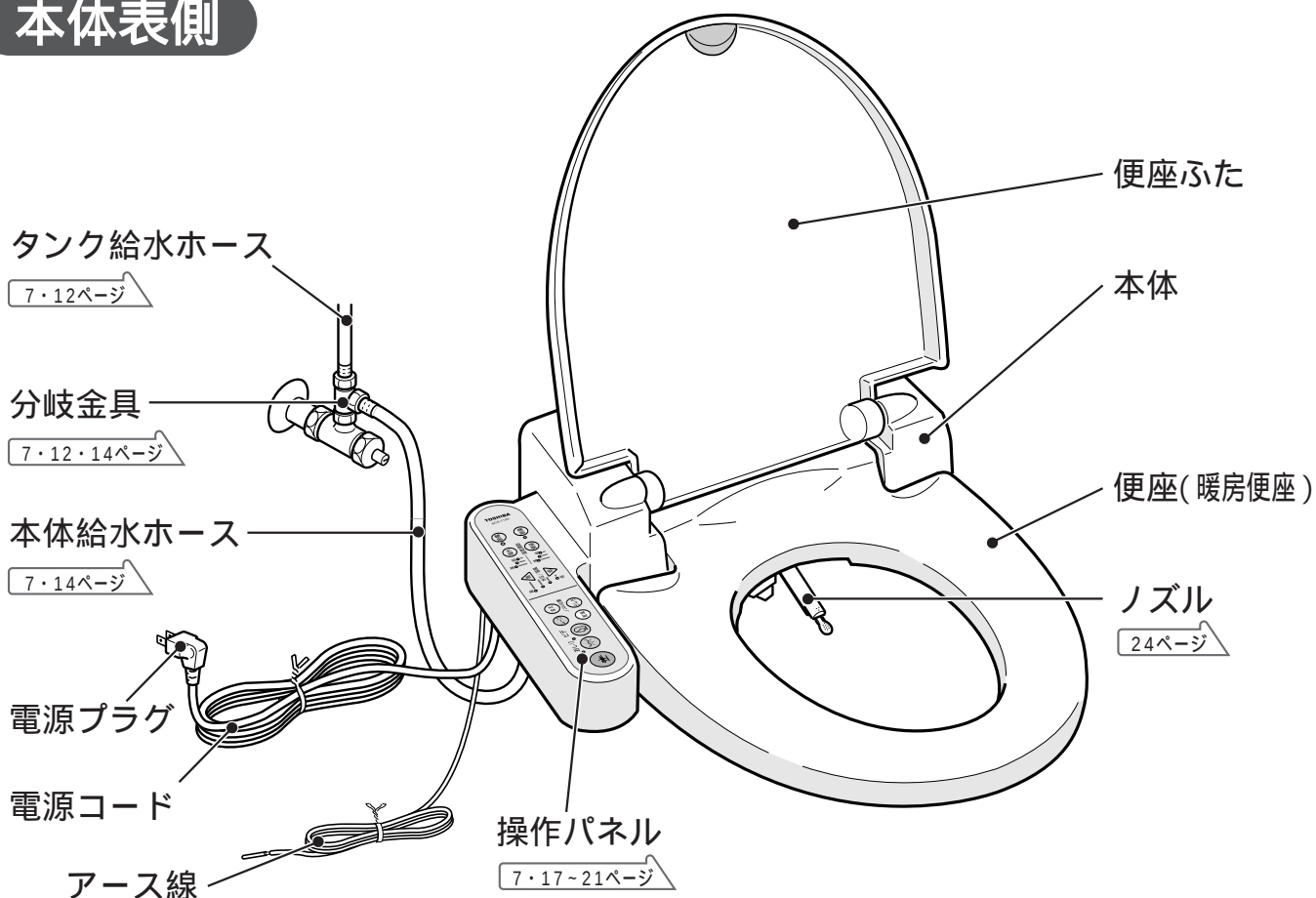
ノズルなどに汚れ物を付けないようにしてください。

臭いが出たり、故障の原因になります。

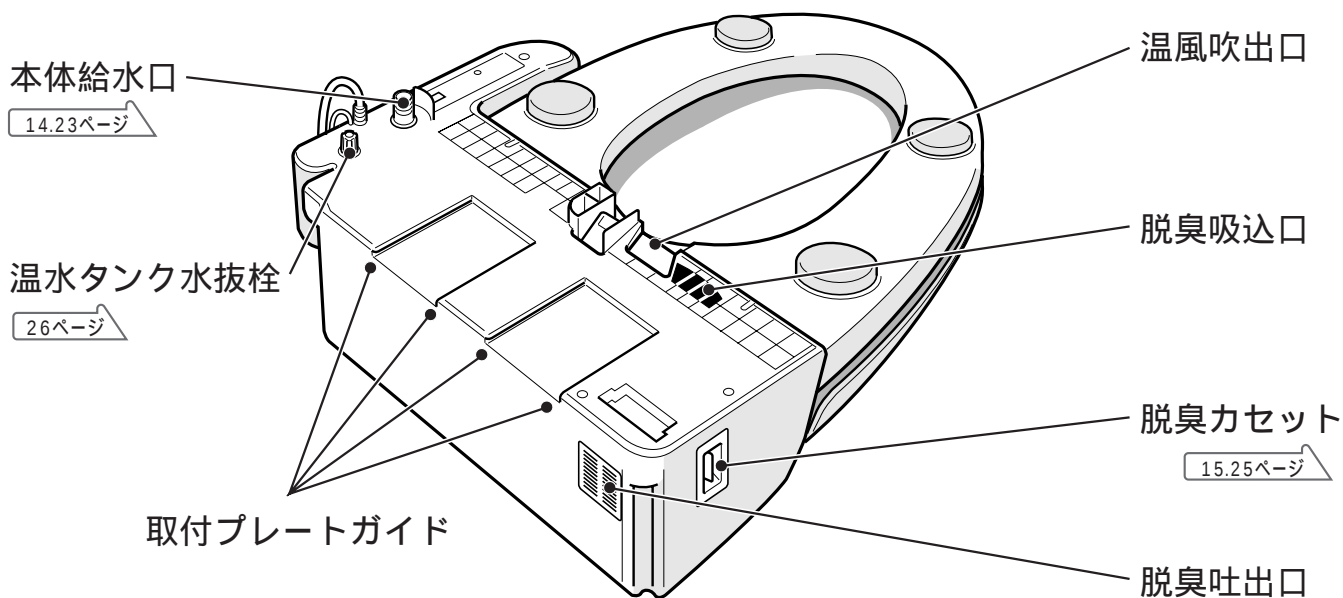
各部のなまえ

このマークの中の数字は、掲載ページを示しています。

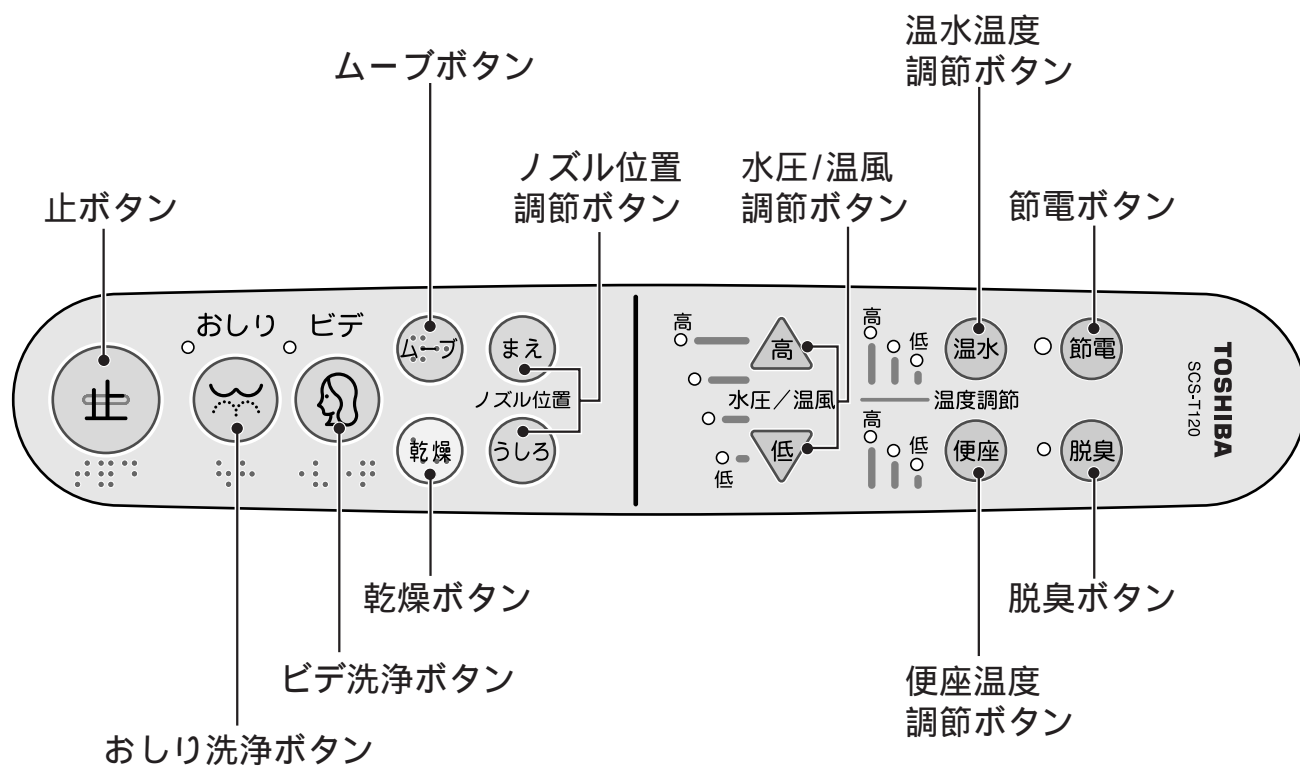
本体表側



本体裏側



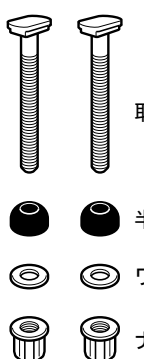
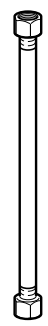
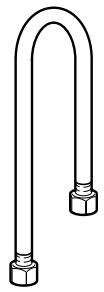
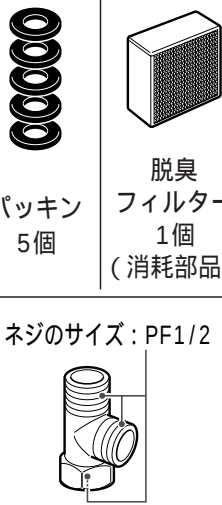
操作パネル



使用前に

付属品

取り付け時に必要なもの

 取付ボルト 半丸パッキン ワッシャ ナット 取付ボルトセット 1セット	 取付プレート 2個 ゴム板 4枚	 タンク給水ホース 約0.5m 1本	 本体給水ホース 約1m 1本	 パッキン 5個 脱臭 フィルター 1個 (消耗部品) ネジのサイズ: PF1/2 分岐金具 1個	 スパナ ボックスレンチ
---	--	--	---	--	---

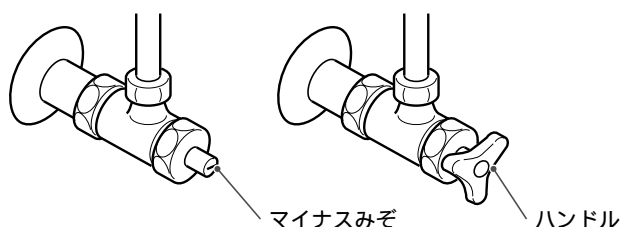
取り付け前の確認

止水栓の確認

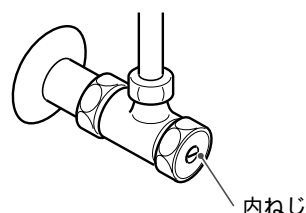
トイレの止水栓を確認してください。付属品以外に別売部品が必要な場合があります。ご確認のうえ、お買い上げの販売店にご相談ください。

以下の場合、付属品の分岐金具のみで取り付けが可能です。

■ 一般の止水栓

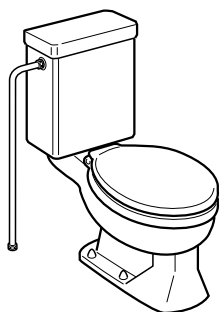


■ 内ねじ止水栓



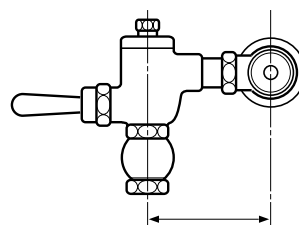
以下の場合、取り付けるとき専門業者にご依頼ください。

■ 寒冷地用給水管（止水栓なし）



- 付属品の分岐金具のほかに、TOTO製給水管T5MF7N（市販品）が必要です。

■ フラッシュバルブ式



- 付属品の分岐金具のほかに、フラッシュバルブアダプタ（市販品）が必要です。
寸法をご確認の上、フラッシュバルブアダプタを選定してください。

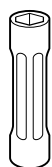
アース端子の確認

- アース端子があることを確認してください。
- アース端子がないときは、電気工事店または販売店にご相談ください。

取り付け作業に必要なもの

配管時に必要なもの

- スパナ、ボックスレンチ（付属品）
- マイナスドライバー



ボックスレンチ



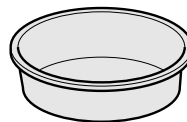
スパナ



マイナスドライバー

給水管を取りはずすときの残水処理に必要なもの

- 広口容器
- ぞうきん



広口容器

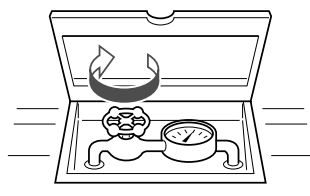


ぞうきん

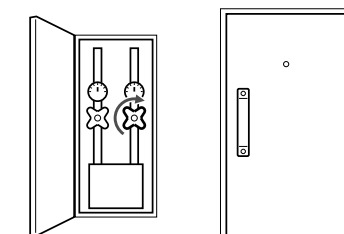
取り付けかた

1 水道の元栓を閉める

- 水を使用中の器具がないことを確認し、水道の元栓を閉めます。



戸建住宅



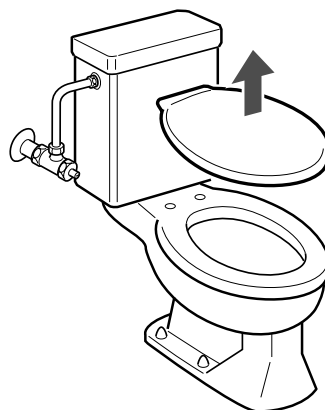
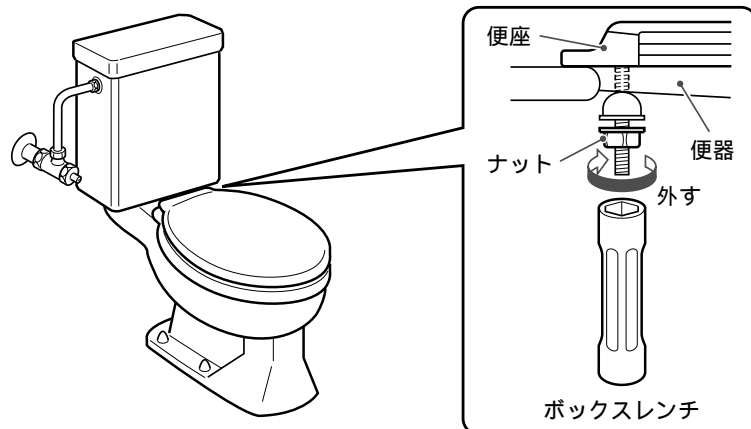
集合住宅

お願い

- 元栓を閉めたら、近くの蛇口などで水が止まっていることを確認してください。

2 便座を取りはずす

- ナットをボックスレンチなどでゆるめ、便座を取りはずします。



お願い

- 取りはずした便座ふた、便座、ナットなどは保管しておいてください。
引っ越しなどで必要になる場合があります。

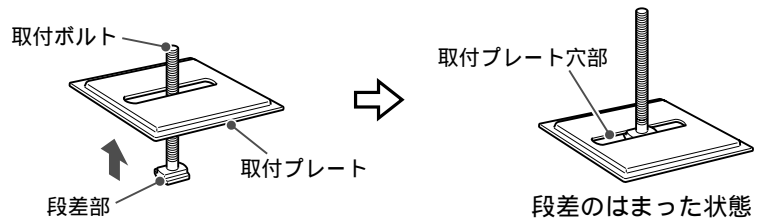
取り付けかた (つづき)

3

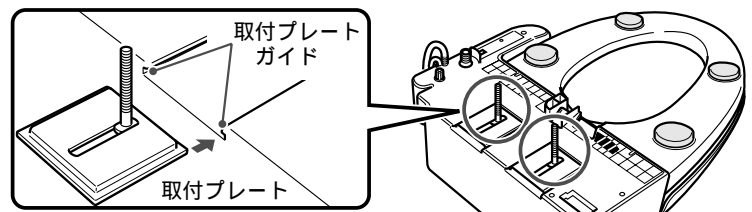
温水洗浄便座を取り付ける

1. 取付プレートの穴部に取付ボルトを入れる。

- 取付ボルトにはまっている、半丸パッキン、ワッシャ、ナットをはずして、取付ボルトを取付プレートに入れます。
- 取付ボルトの段差部が取付プレートの穴部にはまるような向きで入れてください。

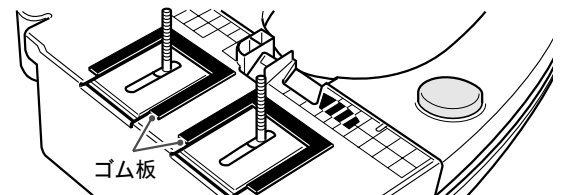


2. 本体の取付プレートガイドに取付プレートの両端をスライドさせながら取り付ける。

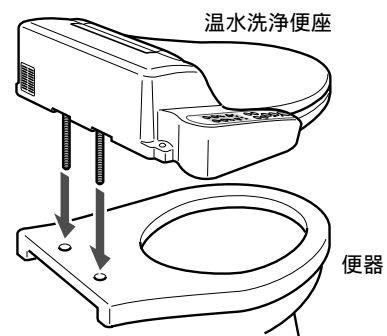


3. 取付プレートガイドの周囲に、すべり止め用のゴム板を左右各1枚ずつ貼り付ける。

- ゴム板の両面テープのはく離紙をはがして貼り付けてください。

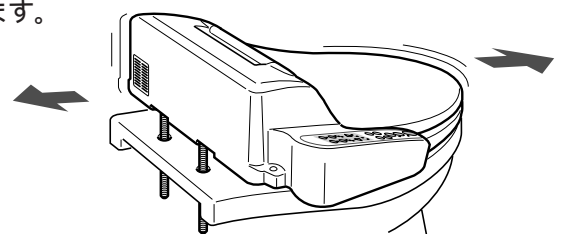


4. 取付ボルトを便器の取付穴に差し込む。



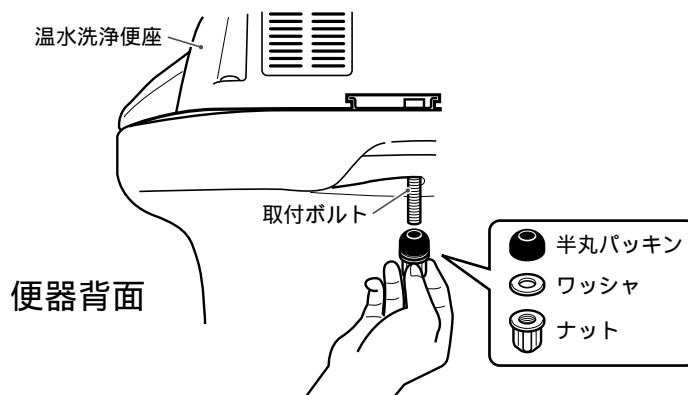
5. 本体を前後に調整しながら、便器の位置を決める。

- 便器の先端に、便座の先端を合わせるようにします。



6. 半丸パッキン、ワッシャ、ナットを手に持ち、落とさないように取付ボルトに差し込む。

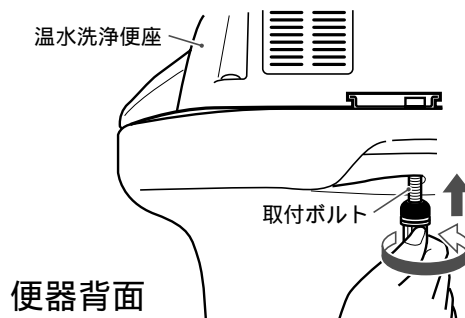
• パッキンの向きに注意してください。



7. ナットを回して締め付ける。

• 便座を2～3回開閉して、がたつきがないことを確認してください。

最後はボックスレンチで締め付けてください。(強く締めすぎると破損することがあります。)



お願い • 長年お使いになると、取付ボルトの締め付けがゆるんでくる場合があります。そのときは、取付ボルトを締め付け直してください。

お知らせ • 正面から見ると右側の便座が便器より少し浮いています。これは、着座スイッチの動作のためのもので故障ではありません。着座することで便座が押し下げられ、着座スイッチが入ります。

取り付けを確認する

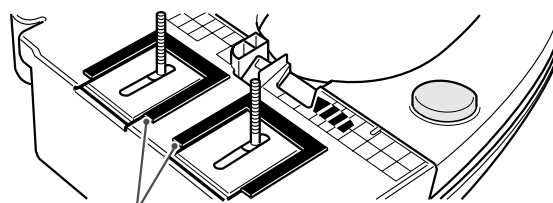
以下の手順で便座の取り付けを確認してください。

1. 便座を前後左右に動かし、動かないことを確認する。
 - 便座が動かないときは次ページにすすんでください。



便座が動くときは

1. 便器から便座をはずし、便座をうらがえして、ゴム板を1枚ずつ追加して貼り付ける。
2. 便座を便器に取り付ける。
 - 動かないことを再度確認し、次ページにすすんでください。



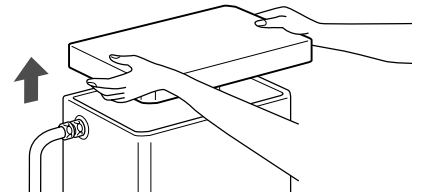
ゴム板を左右1枚ずつ追加して2枚重ねにする

取り付けかた (つづき)

4 分岐金具を取り付ける

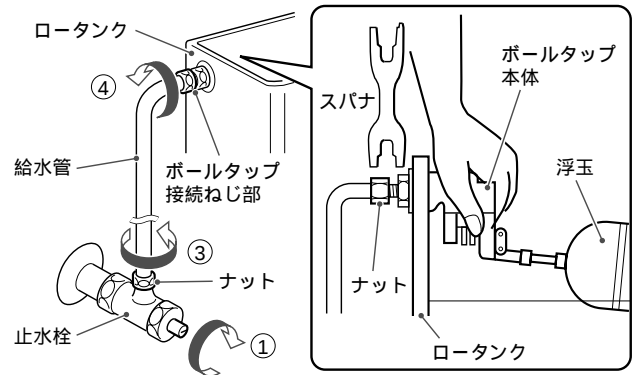
■ 一般の止水栓、内ねじ止水栓

1. ロータンクの上ぶたをはずす。



2. 給水管を取りはずす。

- ① マイナスドライバーなどで止水栓を閉める。
 - ② タンク内の水を流す（水が給水されないことを確認してください）。
 - ③ ナットを回して止水栓から給水管をはずす。
 - ④ ナットを回してロータンクから給水管をはずす。
- このとき、ボールタップ接続ねじ部を回さないように、ボールタップ本体根元部をしっかり握りながら行う。

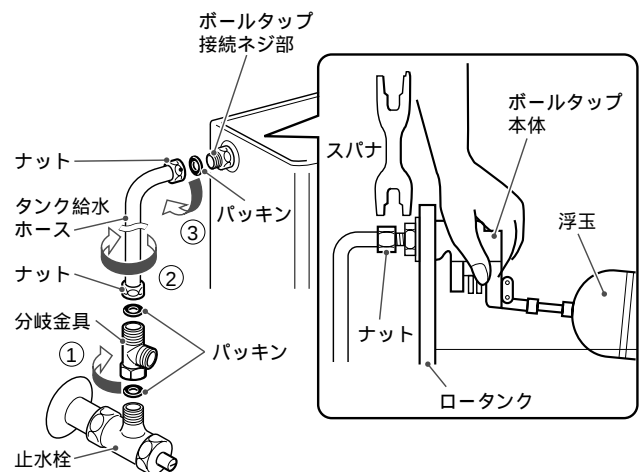


お願い

- 取りはずした給水管と、その他の接続部は大切に保管してください。

3. 分岐金具、タンク給水ホースを取り付ける

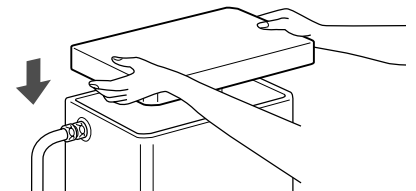
- ① パッキンを入れ、分岐金具のナットを回して止水栓に取り付ける。
 - ② パッキンを入れ、タンク給水ホースのナットを回して分岐金具に取り付ける。
 - ③ パッキンを入れ、タンク給水ホースのナットを回してロータンクに取り付ける。
- このとき、ボールタップ接続ねじ部を回さないようにボールタップ本体根元部をしっかり握りながら行う。



4. ロータンクの上ぶたを元にもどす。

お願い

- 取付けのとき、ボールタップ接続ねじ部を回してしまうと浮玉がタンク側壁と干渉して、ロータンク内に水が入らなくなる場合があります。このようなときは元の位置にボールタップをもどしてください。



お願い

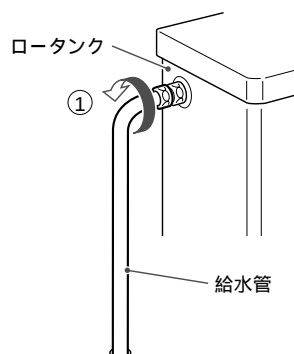
寒冷地用給水管・フラッシュバルブの配管工事は、専門的な工が必要です。

・専門業者へご依頼ください。

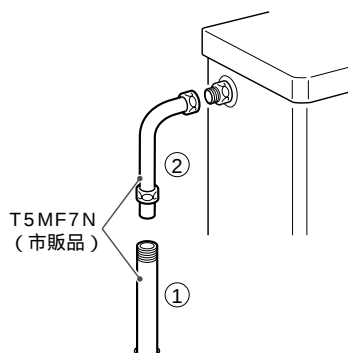
使用しない給水管は保管しておいてください。

■ 寒冷地用給水管（止水栓なし）

1. 給水管を取りはずす。
2. TOTO製給水管T5MF7N（市販品）を取り付ける。

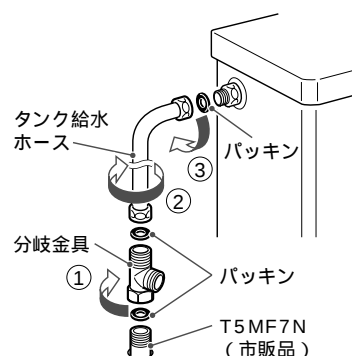


① 給水管をはずす。



② T5MF7N（市販品）を取り付ける。（ただし、②側の給水管は使用しません）

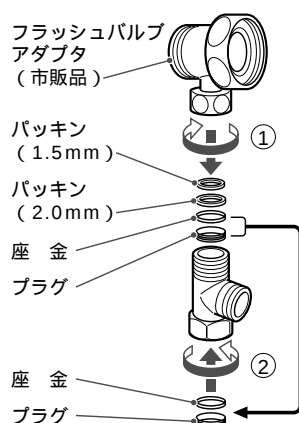
3. 分岐金具、タンク給水ホースを取り付ける。



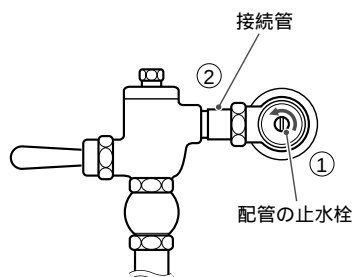
① 配管に分岐金具を取り付ける。
② 分岐金具にタンク給水ホースを取り付ける。
③ ロータンクにタンク給水ホースを取り付ける。

■ フラッシュバルブ式

1. 分岐金具にプラグと座金を取り付ける。
2. 接続管を取りはずす。

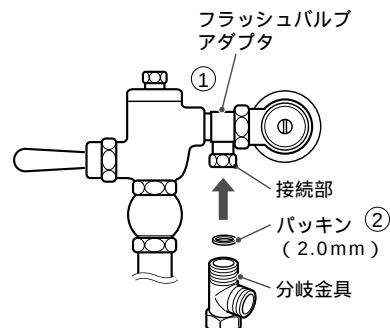


① フラッシュバルブアダプタからプラグなどを取りはずす。
② 分岐金具にプラグと座金を取り付ける。



① マイナスドライバーなどで止水栓を閉める。
② 接続管を取りはずす。

3. フラッシュバルブアダプタ、分岐金具を取り付ける。

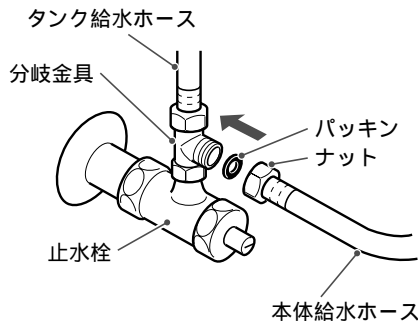


① フラッシュバルブアダプタを取り付ける。（接続部が下になるようにする）
② 分岐金具を取り付ける。

取り付けかた (つづき)

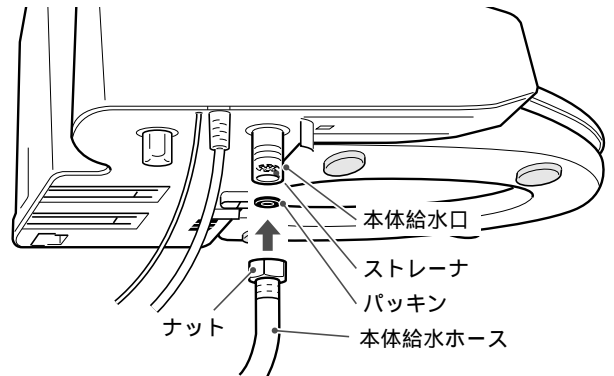
5 本体給水ホースを取り付ける

1. 止水栓側に本体給水ホースを取り付ける。



- 止水栓に接続されている、分岐金具へ本体給水ホースを取り付けます。
パッキンを入れ、本体給水ホースのナットをスパナなどで締め付けてください。

2. 本体側に本体給水ホースを取り付ける。



- 本体給水口にストレーナが付いていることを確認して、本体給水ホースを取り付けます。
- パッキンを入れ、手で本体給水ホースのナットをある程度（約2回転半）締め付けてから、最後にスパナなどで締め付けると確実に取り付けられます。

6 アース線を取り付ける

- まだ電源プラグは差し込まないでください。
(電源プラグは水道の元栓と止水栓を開いてからコンセントに差し込みます。)

⚠ 警告



アースを
接続する

アース線を確実に取り付ける

アース線を取り付けないと漏電時に感電の原因になります。

次のようなところへのアース線接続は法令で禁止されています。ガス管、電話線、避雷針、水栓などアースの取り付け（D種接地工事）は、電気工事店または販売店にご相談ください。

■ アース線を取り付けてください。

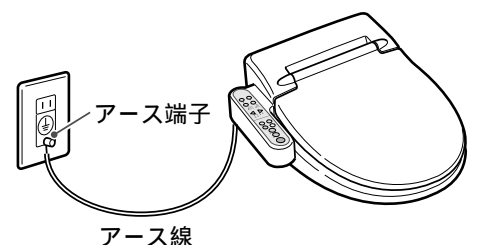
- アース線を取り付けるときは、電源プラグをコンセントから抜いた状態で接続してください。
- 設置場所の変更や転居のときには、アースの取り付けをしてください。

アース端子がある

- アース線をアース端子に確実に接続してください。

アース端子がない

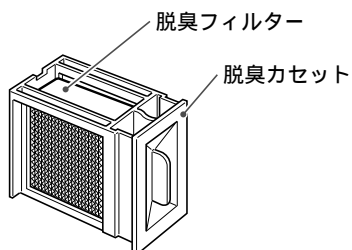
- アース工事をしてください。
- 電気工事店または販売店にご相談ください。



7

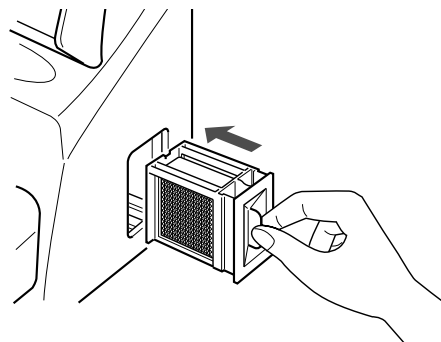
脱臭フィルターを取り付ける

1. 脱臭カセットに脱臭フィルターがセットされていることを確認する。



- 脱臭フィルターの格子部分に触れると黒く汚れることがあります。
汚れた場合は水洗いして、汚れを落としてください。

2. 本体側面の脱臭カセット挿入口へ差し込む。



- 脱臭カセットの上方開放側を上にして差し込んでください。

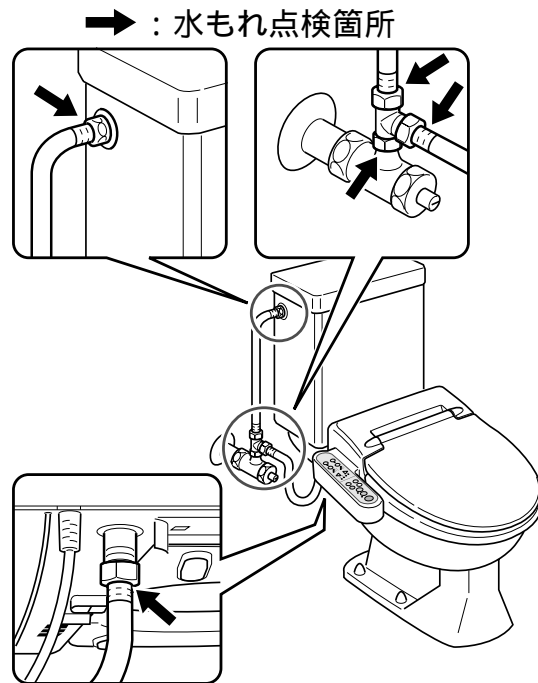
8

配管接続部などに水もれがないか点検する

1. 付属のパッキンにあまりがないか確認する。
 - あまりがあるときは、パッキンを付けてない接続部をはずし、パッキンを取り付けてください。
2. 給水する前に、各接続部のゆるみがないか確認する。
 - ゆるみがあるときは、スパナなどでしっかり締めてください。
3. 水道の元栓を開く。
4. 止水栓を開いて、配管接続部に水もれがないか確認する。

水もれがあった場合

1. 水道の元栓と止水栓を閉める。
2. 水もれのあった接続部をはずし、再度取り付け。



お願い

- どうしても水もれが直らないときは、水道の元栓を閉めた後、水道工事店にご連絡ください。

9

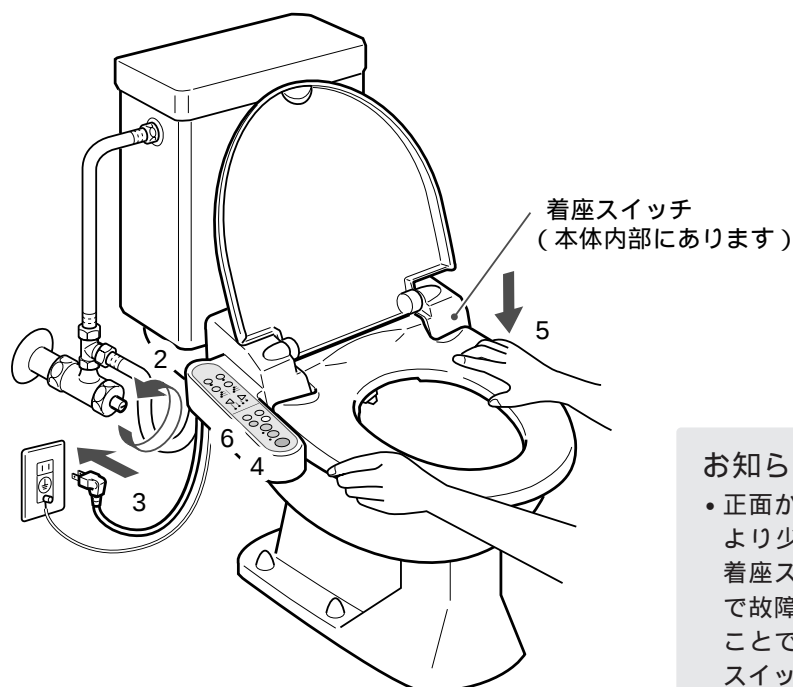
電源プラグをコンセントに差し込む

取り付けかた (つづき)

動作の確認

以下の手順で動作を確認してください。

1. 水道の元栓を開ける。
2. 止水栓をマイナスドライバーなどで開ける。
 - 配管、タンク給水ホース、本体給水ホースの接続部などから水もれしていないか確認してください。もし水もれしているときは止水栓を閉めて、再度取り付け直してください。
3. コンセントに電源プラグを根元まで差し込む。
 - ノズルが1回伸縮し、その間操作パネルの全ランプが点滅し続けます。(初期動作)
 - 初期動作後、操作パネルの「おしり」ランプが点滅します。
本体温水タンクが満水であれば、「おしり」ランプは点滅しません。
4. 操作パネルの「おしり」ボタンを押す。
 - 本体温水タンクに給水され、満水になると「おしり」ランプが消灯します。
 - 給水後、洗浄水が温水になるのを待ちます。(約5分)
 - 便座もあたたまるのを確認します。
5. 便座の右後方を強く押し下げ、着座スイッチを入れる。
 - 着座スイッチは本体内部にあり、スイッチが入るとカチッと音がし、洗浄操作が可能になります。
6. 便座を押し下げたままの状態で、「おしり」ボタンを押す。
 - 自動でノズル洗浄をします。
 - ノズルが伸びて、ノズルから洗浄シャワー(温水)が出るのを確認してください。
ビニールシートなどをあてて、周りへの水の飛び散りを防いでください。
7. 温水洗浄シャワー(温水)が出るのを確認したら、便座を押し下げるのをやめて、着座スイッチを切る。
 - 洗浄が終了し、ノズルが戻ります。



お知らせ

- 正面から見ると右側の便座が便器より少し浮いています。これは、着座スイッチの動作のためのもので故障ではありません。着座することで便座が押し下げられ、着座スイッチが入ります。

基本的な使いかた

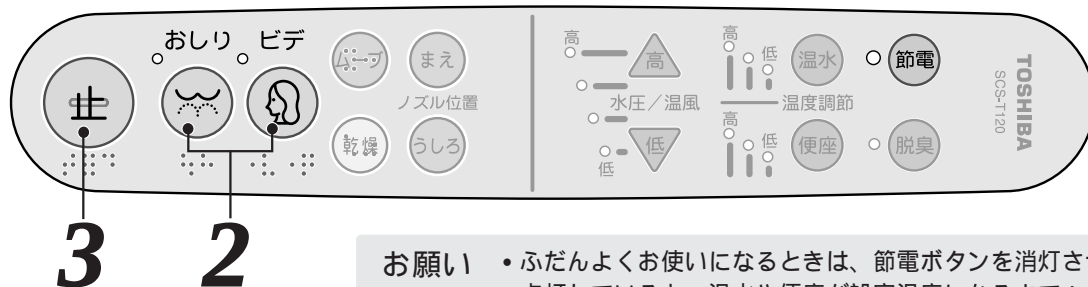
警告



気をつける

次のようなかたが使用されるときは、便座温度調節ボタンを「切」にして、周囲のかたが十分気をつける

お子様・お年寄り・皮膚感覚の弱い人・ご自分で温度調節のできない人・眠気を誘う薬(睡眠薬やかぜ薬など)を服用された人・深酒、疲労の激しい人など低温やけどや事故の原因になります。



お願い ・ふだんよくお使いになるときは、節電ボタンを消灯させてください。点灯していると、温水や便座が設定温度になるまで4～7分の時間がかかります。

1 便座に座る

着座スイッチが入り、洗浄操作が可能になります。

・脱臭が設定されていれば、脱臭が始まります。(脱臭ファン動作音発生)

2 おしり または ビデ ボタンを押す

- ・自動でノズル洗浄をします。
- ・「おしり」ランプまたは「ビデ」ランプが点灯します。
- ・お好みに合わせてノズル位置調整ボタンで調節できます。連続して約40秒ご使用になりますと、洗浄水温度が下がります。さらに続けてご使用になる場合は、洗浄を止めて約5分待って、洗浄水があたたまってからご使用になることをお勧めします。

お願い

- ・操作パネルのボタンを必要以上に強く押さないでください。故障の原因になります。
- ・便座の中央部よりやや後方に座らないと、着座スイッチが入らないことがあります。体重の軽いお子様の場合、着座スイッチが入らないことがあります。
- ・ボタンを押すときは、腰を浮かせたり操作パネル側に体重をかけないでください。着座スイッチが切れ、ボタン操作ができなくなる場合があります。

3 止 ボタンを押し、洗浄を停止する

- ・「おしり」ランプまたは「ビデ」ランプが消灯します。約4秒間、ノズル洗浄をします。ノズルが、ノズル出口付近で伸縮を2回繰り返します。

お願い

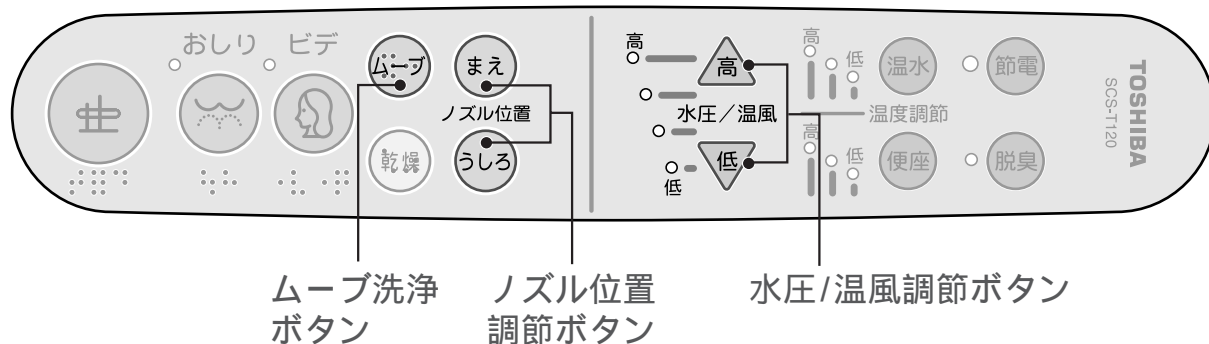
- ・洗浄は1分以上連続使用すると、タイマーが働いて自動的に停止します。さらにご使用になる時は再度ボタンを押してください。
- ・洗浄停止後に続けて「おしり」または「ビデ」ボタンを押しても、すぐに洗浄を開始しない場合があります。

4 立ち上がる

- ・着座スイッチが切れ、洗浄操作ができなくなります。脱臭が設定されていれば、約1分後に自動停止します。

- お願い
- ・洗浄後、ノズル付近から水が出ますが、これは本体内部ホースの残水が出てくるもので、異常ではありません。(約2分後に止まります)
 - ・ノズル付近から水が少量出ることがありますが、これは温水タンク内の水があたためられて膨張して出てくるもので、異常ではありません。
 - ・連続して水が出ているときは、何らかの異常が考えられます。止水栓を閉め、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店、または東芝家電修理ご相談センターへお問い合わせください。

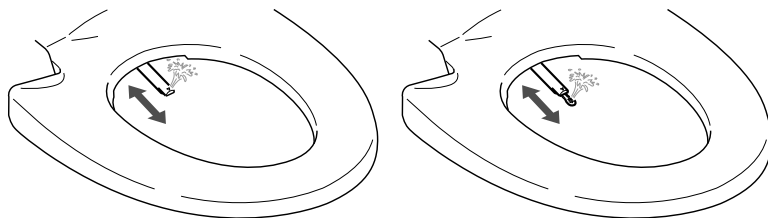
機能の使いかた



ムーブ洗浄

おしり洗浄またはビデ洗浄中に **ムーブ** ボタンを押す

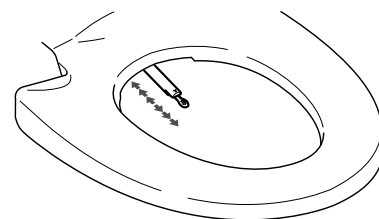
- ノズルが前後に伸縮し、広範囲をまんべんなく洗浄します。
- もう一度ムーブボタンを押すと、ムーブ洗浄が終了します。



ノズル位置の調節

おしり洗浄またはビデ洗浄中に **まえ** **うしろ** ボタンを押す

- 7段階で調節できます。
- 初期は中央の位置ですので、前後に3段階ずつ調節できます。



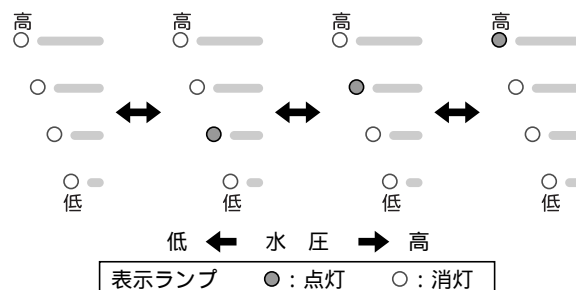
お知らせ

- ノズル位置の設定は本体に記憶されません。洗浄が終われば初期位置（中央の位置）にもどります。次にご使用になるときに、再度調節が必要になります。

水圧の調節

水圧/温風 **高** **低** ボタンを押す

- 4段階で調節できます。
- 洗浄時以外でも調節できます。
- 水勢の強さ設定は本体に記憶されます。直前に設定した強さで洗浄を行います。
- 水道水圧が低いところでは、水圧の調節を「低」にすると洗浄水が出ないことがあります。このようなときは、水圧の調節を「高」にしてください。





便座温度調節ボタン

温水温度調節ボタン

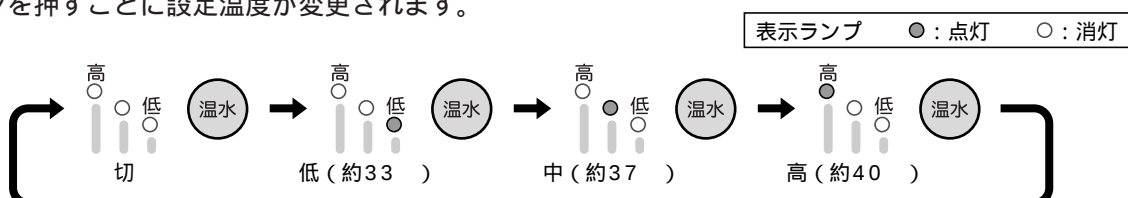
脱臭ボタン

温水温度の調節

温水

ボタンを押す

- 3段階で調整できます。
- ボタンを押すごとに設定温度が変更されます。



便座温度の調節

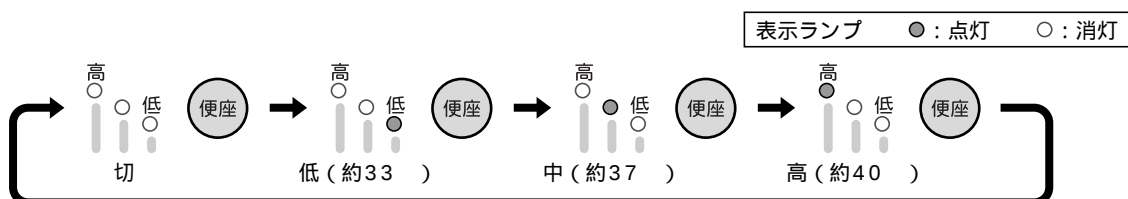
便座

ボタンを押す

- 3段階で調整できます。
- ボタンを押すごとに設定温度が変更されます。

お願い

- 周囲温度によって、便座温度は変化します。お使いにならないときに便座ふたを閉めておくと、温度低下を少なくでき、また電気代の節約にもなります。



脱臭

脱臭

ボタンを押す

- 「脱臭」ランプが点灯し、脱臭が設定されます。
- ボタンを押すごとに設定 / 解除されます。
- 着座して着座スイッチが入ると、脱臭ファンが動作し脱臭を始めます。
- 立ち上がって着座スイッチが切れると、約1分後に自動停止します。
- 脱臭中に脱臭ボタンを押すと、脱臭が停止し、「脱臭」ランプが消灯して設定が解除されます。

お知らせ

- 脱臭を連続で使用した場合、約15分で自動停止します。続けて使用する場合は、一度立ち上がって座り直してください。
- 脱臭機能は、便器内の脱臭を目的にしております。トイレ全体を脱臭することはできません。

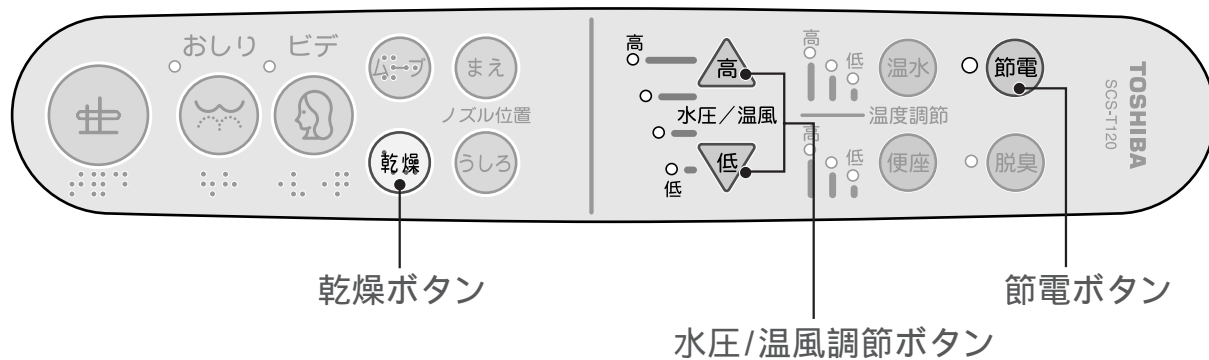
機能の使いかた (つづき)

⚠ 注意



禁止

温風吹出し口に指を入れたり、ふさいだりしない
手をけがしたり、やけどの原因になります。



乾燥

乾燥

ボタンを押す

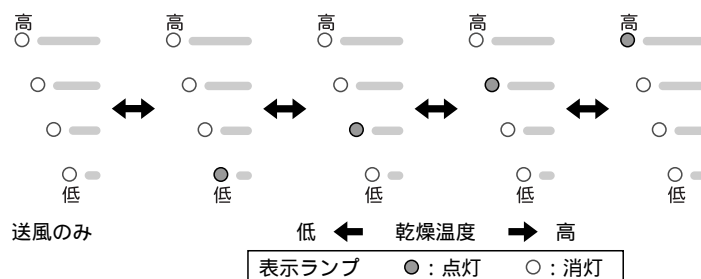
- 乾燥を止めるときは **止** ボタンを押す。
- 乾燥は約5分間動作すると止まります。さらに使うときは、もう一度乾燥ボタンを押してください。
- 乾燥前に、トイレトペーパーで水滴をふき取ると早く乾きます。

乾燥温度の調節

乾燥

ボタンを押す

- 乾燥温度調節は、水圧/温風 **高** **低** ボタンを押します。
 - 乾燥温度は4段階に調節できます。
 - 乾燥が止まっているときは、温度調節はできません。
- 必ず、乾燥ボタンを押してから温度調節してください。



節電

節電

ボタンを押す。

- ボタンを押すごとに、節電モード1→節電モード2→解除（ランプ消灯）に設定を変更できます。

● 節電モード1（緑ランプ点灯）

- 温水温度と便座温度を、設定温度(低、中、高)に関係なく約25℃に設定します。
(温水ヒーターと便座ヒーターへの通電時間を短くして節電します)
- 便座に座る(着座スイッチが入る)と、温水ヒーターと便座ヒーターに通電し、設定温度まで温度を上げます。
(設定温度になるまで、約4分かかります。)
- 立ち上がる(着座スイッチが切れる)と、再び温水温度と便座温度を約25℃に設定します。

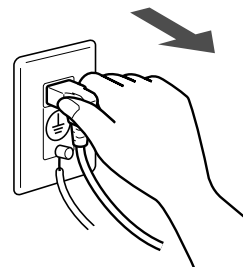
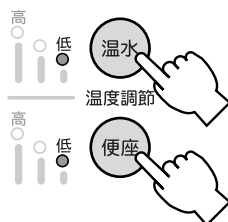
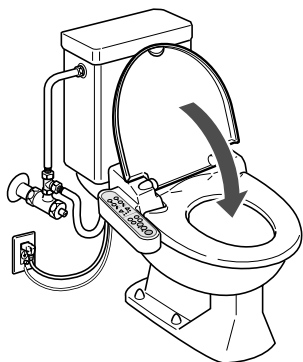
● 節電モード2（赤ランプ点灯）

- 温水温度と便座温度の設定温度（低、中、高）に関係なく、温水ヒーターと便座ヒーターへの通電を止めます。
- 節電モード2に設定した場合、「節電」ランプ以外のランプは消灯します。
- 座る(着座スイッチが入る)と、温水ヒーターと便座ヒーターに通電し、設定温度まで温度を上げます。
(設定温度になるまで、約7分かかります)
このとき、「節電」ランプ以外の設定表示ランプが点灯します。立ち上がる(着座スイッチが切れる)と、再び温水ヒーターと便座ヒーターへの通電を止め、「節電」ランプ以外のランプは消灯します。

その他の節電のしかた

節電のために次のことをお願いします。

- 便座ふたは閉じておきましょう。
使用後に便座ふたを閉じておくと、便座表面からの放熱を減らすことができ、節電になります。
- 設定温度を低めにしましょう。
季節に応じて、冷たさを感じない範囲で設定温度を低めに調節すると、節電になります。
- こまめに電源を切っておきましょう。
外出時など長時間使用しないときは、電源プラグを抜いておくと、節電になります。



お手入れのしかた

⚠ 警告



プラグを
抜く

お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く

感電・けがの原因になります。

⚠ 注意

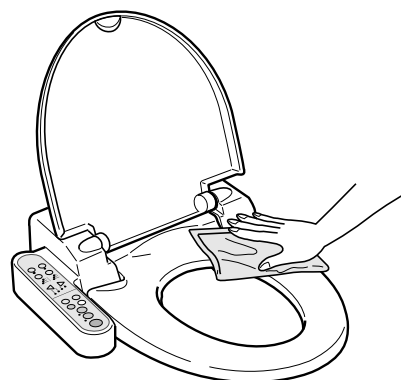


禁止

酸性やアルカリ性のトイレ用洗剤、ベンジン、シンナー、クレンザー、ナイロンたわしなどを使用しない
プラスチック・金具を傷めます。

本体

1. 電源プラグをコンセントから抜く。
2. 柔らかい布などに水を含ませ、固くしぼってからふく。
3. 汚れがひどいときは、中性洗剤を柔らかい布に含ませてふき取り、そのあと水ぶきする。
洗剤のご使用にあたっては、洗剤の用途をよく確認してからご使用ください。
便座ふたは取りはずしてお手入れできます。
4. お手入れが終わったら、電源プラグをコンセントに差し込む。

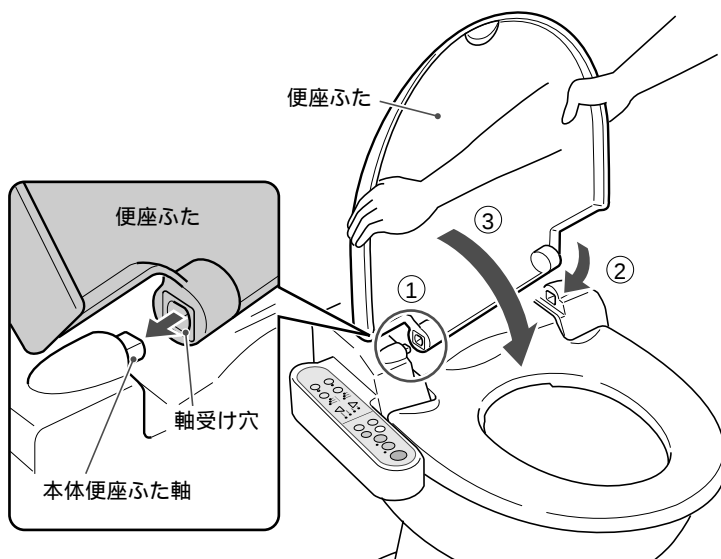


便座ふたの取りはずし・取り付けかた



取りはずしかた

- ① 便座ふたが垂直になるように開ける。
- ② 便座ふたの根元の右側を引き上げる。
- ③ 引き上げた状態で、右斜め上方へ引き抜く



取り付けかた

- ① 便座ふたの根元の左側の軸受け穴に本体便座ふた軸に差し込む。
- ② 便座ふたの根元の右側を本体便座ふた軸に合わせて押し下げる。
- ③ 便座ふたを静かに閉める

お願い

- 便座、便座ふたは無理に閉めないでください。

⚠ 注意



閉める

ストレーナをはずすときは、止水栓を閉める また、ストレーナを取り付けるときは、すき間がないようにしっかり閉める
漏水の原因になります。

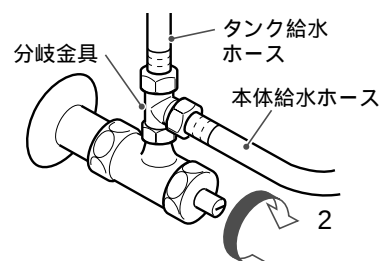
ストレーナ

1

電源プラグをコンセントから抜く

2

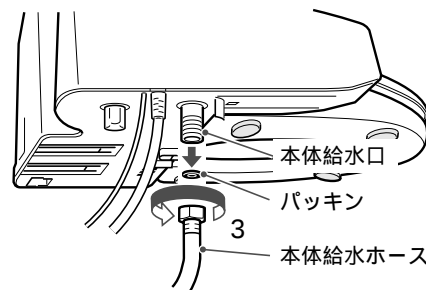
マイナスドライバーなどで止水栓を閉める



3

本体から本体給水ホースを取りはずす

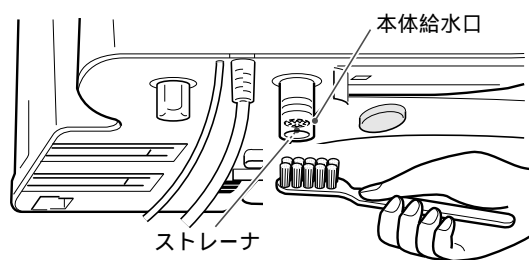
- 給水ホース内の残水により床をぬらさないように気をつけて、スパナなどでナットをゆるめてください。



4

歯ブラシなどでストレーナ内部の掃除をする

- ストレーナは本体給水口に内蔵されています。



5

本体に本体給水ホースを取り付け、止水栓を開ける

- パッキンを忘れずに取り付けてください。
- 水漏れしていないか確認してください。

6

電源プラグをコンセントに差し込む

お手入れのしかた (つづき)

ノズル

1 電源プラグをコンセントに接続する

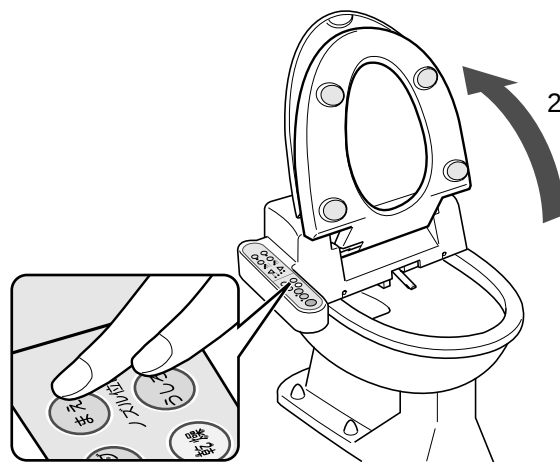
2 便座ふた、便座を開ける

3 ノズル位置調整ボタンの **まえ** と **うしろ** を同時に約3秒間押し続ける

- ・ノズルが洗浄されながら伸縮し、約5cm出た状態で停止します。
- ・ノズルの根元部分まで掃除したい場合は、ノズルの先端部分を指で引っ張ってください。ノズルは約9cmまで伸ばせます。

お願い

- ・ノズルに無理な力を加えないでください。

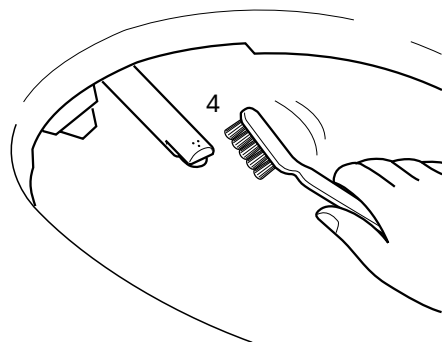


4 柔らかいスポンジやブラシ、布などに水を含ませて、ノズルを軽くふく

- ・ビデノズルは、指で軽く引っ張りながら掃除してください。

お願い

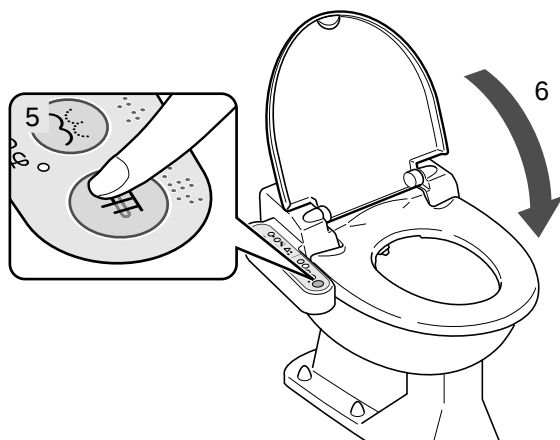
- ・ノズルの穴を傷つけないでください。
- ・ノズルに無理な力を加えないでください。



5 操作パネルの **止** を押す

お知らせ

- ・ノズルが本体に収納された後、カタ・カタと音のすることがありますが、異常ではありません。



6 便座、便座ふたを閉める

- ・ノズルは2分経つと自動で戻ります。

⚠ 注意



禁止

脱臭カセット挿入口から、指や脱臭カセット以外のものを入れない

指などを入れると、挿入口の奥の脱臭ファンで、けがをする原因になります。



禁止

脱臭フィルターには、アルカリ性・酸性洗剤をかけない

塩素系ガスが発生し、気分が悪くなることがあります。

万一、洗剤がかかったときは、すぐ換気をしてください。

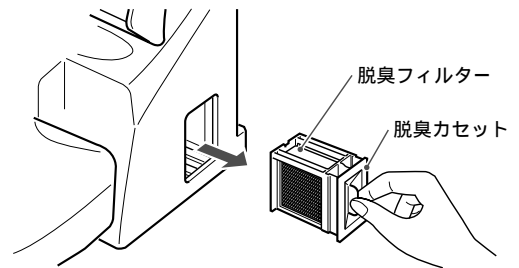
お願い

・脱臭フィルターの水洗いはしないでください。性能が低下したり、形がくずれることがあります。

脱臭フィルター

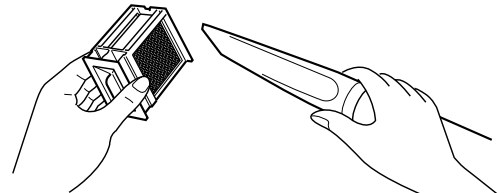
1

脱臭カセットを引き出す



2

脱臭フィルターのほこりを、掃除機などで取り除く



3

脱臭カセットをもと通りに差し込む

■ 脱臭フィルターのお取り替え

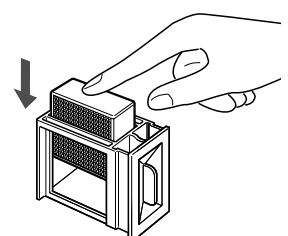
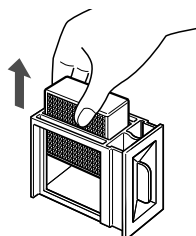
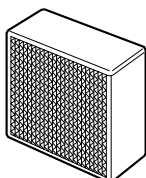
脱臭フィルターの寿命は約5年です。お手入れしても、においが気になる場合はお取り替えください。脱臭フィルターのご購入は、お買い上げの販売店へご注文ください。

■ 脱臭フィルター

(部品コード：02030115)

1. 寿命になった脱臭フィルターを引き抜く

2. 新しい脱臭フィルターの幅の狭いほうを下にして、脱臭カセットに差し込む



凍結防止・長期間使わないときの処置のしかた

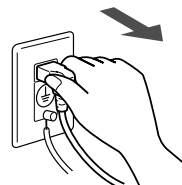
凍結のおそれがあるときは、配管部が破損する可能性がありますので水抜きをしてください。
長期間使わないときは、水が腐敗して皮膚の炎症などの原因となりますので水抜きをしてください。

凍結予防および長期間使わないときの処置のしかた

1

電源プラグを抜く

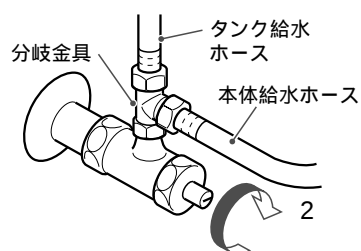
- コンセントから電源プラグを抜く。



2

止水栓を閉める

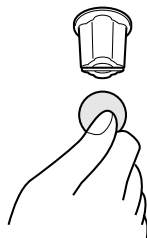
- マイナスドライバーなどで止水栓を閉める。



3

温水タンクの水を抜く

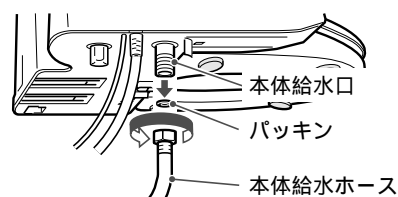
- 温水タンク水抜き栓を回してはずし、温水タンクの水を抜く。
排水は、2L以上の広口容器で受ける。
水抜き栓が回らないときは、コイン状のもので回してください。



4

給水ホースとロータンクの水を抜く

1. 本体給水口に接続されている本体給水ホースをはずし、はずした本体給水ホースの先端部分を広口容器に入れる
2. ロータンクのレバーを回し、ロータンク内の水を流し、空にする
 - ロータンクのレバーを回すと、給水ホース内の水も抜けますので、はずした本体給水ホースの先端部が広口容器に入っていることを確認してください。
 - 本体給水ホース用のパッキンをなくさないように注意してください。



お願い

- 凍結予防中は、ロータンクおよび本体に給水されませんのでトイレは使えません。

凍結予防を解除する・使用を再開する

1 温水タンク水抜栓を元通りに取り付ける

2 本体給水ホースを元通りに取り付ける
• パッキンを入れ忘れないようにして取り付けてください。

3 止水栓を開ける

4 電源プラグを差し込む
• 「おしり」ボタンを押して、タンクに給水する。

異常報知について

本体に異常が発生すると表示ランプが点滅してお知らせします。

表示内容	考えられる原因と処置のしかた	
 温水	- 温水温度異常 - 温水温度センサーの故障による温水温度制御不能	ご使用をやめて電源プラグを抜き、点検・修理をご依頼ください。
 便座	- 便座温度異常 - 便座温度センサーの故障による便座温度制御不能	
 おしり	- タンク内の水量低下・不足 - 水位センサーの故障などによる水位制御不能	電源プラグを一度抜き、再び電源プラグを差し込んでから「おしり」ボタンを押して給水動作を行っても、ランプの点滅が続く場合は、電源プラグを抜き、点検・修理をご依頼ください。

表示ランプ  : 点滅  : 点灯

故障かなと思ったら

修理サービスを依頼される前に、次の点をお調べください。

状 態	原 因	処置方法
動かない	・ 停電していませんか。 ・ ブレーカーが切れていませんか。 ・ 電源プラグが抜けていませんか。	・ 停電の復帰を待ってください。 ・ ブレーカーを「入」にしてください。 ・ 電源プラグをコンセントに差し込んでください。
ノズルが出ない	・ 着座スイッチが動作しづらい状態(便座の先端部に座っているなど)になっていませんか。	・ 便座の中央部よりやや後方に座りなおしてください。
洗浄水が出ない	・ 断水していませんか。 ・ 止水栓が閉まっていますか。 ・ 本体給水ホースなどが凍結していませんか。 ・ 本体の温水タンクに水が入っていますか。 (「おしり」ランプが点滅していませんか)	・ 断水の復帰を待ってください。 ・ 止水栓を開けてください。 ・ お湯に浸した布などで、本体給水ホースなど凍結部を温めてください。または室内を暖めて解凍してください。(熱湯や熱風による解凍はしないでください。ホースが破損する恐れがあります) ・ 「おしり」ボタンを押して、初期給水を行ってください。
水勢が弱い	・ ストレーナにゴミが詰まっていますか。 ・ 本体給水ホースが折れ曲がっていませんか。 ・ ノズルが目詰まりしていませんか。 ・ 水勢が「弱」になっていませんか。	・ ストレーナを掃除してください。 ・ ホースの折れ曲がりを取り除いてください。 ・ ノズルを掃除してください。 ・ 水勢を「強」に調節してください。
洗浄水がぬるい、冷たい	・ 温水温度調節が「切」、「低」に設定されていませんか。 ・ 連続して洗浄していませんか。 ・ 節電モードを設定していませんか。 (節電ランプが赤または緑に点灯していませんか) ・ 長時間着座していませんか。長時間着座してから洗浄操作すると、設定温度より低い湯が出ることがあります。	・ 設定混度を「中」、「高」に調節してください。 ・ 前の人の洗浄後、約5～7分(※)待ってから使用してください。(温水タンク内の水を温めます) ・ 着座して約4～7分(※)待ってから使用してください(温水タンク内の水を温めます) ・ 洗浄操作前に一度立ち上がって座り直してください。
暖房便座がぬるい、冷たい	・ 便座温度調節が「切」、「低」に設定されていませんか。 ・ 節電モードを設定していませんか。 (節電ランプが赤または緑に点灯していませんか)	・ 設定温度を「中」、「高」に調節してください。 ・ 着座して約5分待ってください。(便座を暖めます)
脱臭が動作しない	・ 脱臭を設定していますか。 ・ 着座スイッチが動作しづらい状態(便座の先端部に座っているなど)になっていませんか。	・ 「脱臭」ボタンを押して、設定してください ・ 便座の中央部よりやや後方に座りなおしてください。

状 態	原 因	処置方法
脱臭が途中で止まる	・15分以上着座していませんか。	・連続して着座していると、約15分で脱臭が止まりますので、座り直してください。
においが取れなくなった	・脱臭フィルターにほこりが詰まっていますか。	・脱臭フィルターのお手入れをしてください。
本体ががたつく	・本体を固定している取付ボルトの締付がゆるんでいませんか。 ・ゴム板を左右2枚ずつ貼りましたか。	・取付ボルトを締め付け直してください。 ・ゴム板を左右2枚ずつ貼ってください。
便座、便座ふたの閉まりが速い	・周囲温度が高いときや、長年ご使用になりますと閉まりが速くなります。	_____
便座、便座ふたの閉まりが遅い	・周囲温度が低いときは、閉まりが遅くなります。	_____
温風温度が低い	・乾燥温度の設定が低くなっていませんか。	・乾燥温度の設定を高くしてください。
温風乾燥が途中で止まる	・乾燥ボタンを押してから約5分間以上になっていませんか。 ・着座スイッチがはたらきにくい状態になっていませんか。	・再度乾燥ボタンを押してください。 ・便座の中央部よりやや後方に座りなおしてください。
温風乾燥が全く動かない	・着座スイッチがはたらきにくい状態になっていませんか。	・便座の中央部よりやや後方に座りなおしてください。

* 周囲温度により、あたたまる時間が異なることがあります。

仕 様

形 名		SCS-T120
電 源		交流100V 50-60Hz共用
定格消費電力		最大467W
使用可能給水圧力		0.07～0.75MPa
給水温度		0～約35
温水洗浄装置	おしり洗浄(L/分)	0.6～1.2
	ビデ洗浄(L/分)	0.7～1.3
	水勢調節	おしり、ビデ各4段階
	温度調節	3段階調節(約33～40) およびヒーター「切」
	ノズル位置調節	7段階調節
	温水ヒーター	400W
	温水タンク容量	約1.3L
	安全装置	サーモスイッチ(温度過昇防止器) 温度ヒューズ、水位センサー
暖房便座装置	温度調節	3段階調節(約33～40) およびヒーター「切」
	便座ヒーター	50W
	安全装置	温度ヒューズ
乾燥装置	温度調節	4段階調節(約50～80) およびヒーター「切」
	乾燥ヒーター	290W
	乾燥風速	約15m/s
	安全装置	温度ヒューズ
脱 臭	脱臭フィルター	触媒脱臭
	脱臭風量	約0.1m ³ /分
節電モード		モード1、モード2
その他の安全装置		漏電遮断回路内蔵
外形寸法		幅476mm×奥行525mm×高さ162mm
本体質量		約5.9kg
電源コード		長さ約1.2m

保証とアフターサービス

必ずお読みください

保証書（一体）

- 保証書は、この取扱説明書の裏表紙に記載されています。
- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証期間はお買い上げの日から1年間です。

補修用性能部品の保有期間

- 温水洗浄便座の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後6年です。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
- 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは

出張修理

27～29ページ「異常報知について」「故障かなと思ったら」に従って調べていただき、なお異常があるときは、切キーを押して使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■ 保証期間中は.....

保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■ 保証期間が過ぎているときは.....

保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

■ 修理料金のしくみ.....

修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する料金です。

便利メモ	お買い上げ日	年	月	日
	お買い上げ店名	電話（ ）		



愛情点検

長年ご使用の温水洗浄便座の点検をぜひ！

このような症状はありませんか。

- ・コンセントがガタついている。
- ・水漏れがする。
- ・焦げ臭いにおいがしたり、運転中に異常な音や振動がある。
- ・本体に触ると、ビリビリ電気をを感じる。
- ・ボタンを押しても動作しないときがある。
- ・電源コード、プラグ、本体が異常に熱い。
- ・そのほか、異常・故障がある。

ご使用中

このような症状のときは、故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店に点検、修理をご相談ください。

保証とアフターサービス(つづき)

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびに、お取り扱い・お手入れに関するご不明な点は
お買い上げの販売店にご相談ください。

ご転居されたり、ご贈答品などで
販売店に修理のご相談ができない場合

東芝家電修理ご相談センター



0120-1048-41

電話で **24時間**
365日 お応えします

新製品などの商品選び、
お取り扱い・お手入れ方法などのご相談

東芝家電ご相談センター



0120-1048-86

携帯電話・PHSからのご利用は
東日本地区(北海道、東北、関東、山梨県、) 044-543-0220
静岡県、新潟県、沖縄県
西日本地区(上記以外) 06-6440-4411

携帯電話・PHSからのご利用は 03-3426-1048
FAX 03-3425-2101(365日:8:00~20:00受付)

電話受付:365日・24時間受け付けます。フリーダイヤルは、携帯電話・PHSなど一部の電話ではご利用になれません。

出張修理

東芝温水洗浄便座保証書

形名	SCS-T120		
お名前	ふりがな 様		
ご住所	〒□□□-□□□□		
電話	市外	市内	番号
保証期間	本体 1年 お買い上げ日 □年□月□日から		
ご販売店	住所・店名 電話		

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、
無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書
によって、保証書を発行している者(保証責任者)およ
びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制
限するものではありませんので、保証期間経過後の修理
についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または東
芝家電修理ご相談センターにお問い合わせください。
保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間につ
いて詳しくは取扱説明書をご覧ください。

修理 メモ	修理年月日	修理内容	担当
	年 月 日		
	年 月 日		

東芝コンシューママーケティング株式会社 家電事業部 クリーンソリューション部
〒101-0021 東京都千代田区外神田2-2-15(東芝昌平坂ビル)
電話(03)3257-5864

本書は、取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書による
正常なご使用で、保証期間中に故障した場合に、本書記
載内容にて無料修理をさせていただくことをお約束する
ものです。
保証期間中に故障が発生したときには、本書と商品をご
持参のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼くださ
い。
修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用
することがあります。
印欄に記入のない場合は有効とはなりませんから、必
ず記入の有無をご確認ください。本書は再発行いたしま
せんので、紛失しないよう大切に保管してください。
1.保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
(イ)使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故
障および損傷。
(ロ)お買い上げ後の落下、運送等による故障および
損傷。
(ハ)火災、天災地変(地震、風水害、落雷等)、塩害、
ガス害、異常電圧による故障および損傷。

- (ニ)本書のご提示がない場合。
(ホ)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名
の記入のない場合、あるいは字句が書きかえら
れた場合。
(ヘ)一般家庭用以外(たとえば業務用など)にご使
用の場合の故障および損傷。
(ト)ご使用による容器の汚れ。
(チ)消耗部品の交換
- 2.出張修理を行なった場合には出張に要する実費を申し
受けます。
3.修理のために取りはずした部品は特段のお申し出が
ない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
4.本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
5.ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談
ください。
6.ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販
売店に修理がご依頼できない場合には、東芝家電修理ご
相談センターへご相談ください。

東芝コンシューママーケティング株式会社
家電事業部

〒101-0021 東京都千代田区外神田2-2-15(東芝昌平坂ビル)

030273-01